

◆職場内家庭教育研修会◆

## 社会福祉法人 榎の木福祉会

日時：平成31年1月31日（木）午後6時30分～  
会場：社会福祉法人 榎の木福祉会 らでうす棟内  
講師：加藤利彦氏（元名古屋女子大学 講師）  
演題：『**家庭と職場の調和**』—人間関係のヒント—



今回の職場内家庭教育研修会は、一宮市（旧尾西市）富田にある「社会福祉法人 榎の木福祉会」で開催されました。

昭和56年、この地に作業所を設立し、「ひとりひとりひかる 地域の中で豊かな暮らしをめざして」を基本理念に、障害者支援を展開されてきました。現在では、入所施設「かしの木の里」や生活共同施設としてグループホームなど16の事業所を有し、230名を超える利用者に対し、288名の職員が支援に当たり、地域のみなさんから厚い信頼をいただいているそうです。



穏やかに語りかける加藤先生



熱心に質問される参加者のみなさん

講師は、元名古屋女子大学講師の加藤利彦先生です。

♪ゲーゲー チョキ パーゲー チョキ パー♪

研修会は、音楽科の教員でもあった加藤先生がよく通る声と見事な動作をまじえたエクササイズから始まりました。

楽観になれる方法として 1. 「笑顔」 2. 困った時こそ、「なんとかなるさ」 3. 「好きな物から先に食べる」という3つのことを紹介され、「三日坊主は何もしないより3日も偉い」と子供を褒める大切さも説かれました。

さらに、「聴き上手は、人間関係上手」、「『聴く』は耳+目+心」とも話され、「**相手の目で見、相手の耳で聴き、相手の心で感じる**」ことが人間関係で最も大切なことだと紹介されました。

研修時間はあっという間に過ぎ、研修会終了後に、たくさんの方が加藤先生を囲んで質問されている様子が印象的でした。

### 参加された方々の感想より

- 人間関係の話ということで、もっと堅苦しい話をされるかと思っていましたが、とても分かりやすく、話の中で自分がやっちゃっていることなどを改めて考えさせられました。また、今後どうしていけば良いかなど、まさにヒントになることもたくさん話され、聞いていて、とても楽しく、ためになると思いました。
- 子育てに限らず、職場や地域においても「聴く」ということが大切だと思っていましたが、なかなかできていません。とても分かりやすく、今日から行っていきたくと思います。
- 今まさに子育て中なので、すぐに役立つ内容ばかりで、聞いていてとても興味深かったです。簡単にできそうな気にさせていただいたので、まずは自分を変える努力をしようと思います。
- 後輩の育成に悩んでいたところでした。おそらく私は、「後輩を変えよう。変えよう」と思って接していたと反省しました。人(相手)を変えるのではなく、自分を変えていかなければと思いました。子育てはしていませんが、部下育成にとっても参考になりました。